

2010 年度 Block. 1

課 題 No. 14

課題名：何気なく飲んでいたけれど

課題作成者：薬理学
医学教育学

富田 毅
吉岡俊正

シート1

夕食後、医学部2年生の五月さんは頭が痛いといって薬箱の中を探しながら、「鎮痛剤を切らしているみたい」と困っています。

それを聞いたお父さんが、薬局でもらった説明書を見ながら、「お父さんが毎日飲んでいるアスピリンならあるけど、これじゃだめかな？」
「えっ？ お父さん、どうしてアスピリンなんか飲んでいるの？」と五月さん。

シート2

お父さんによると、半年前に心筋梗塞をおこして以来、毎朝食後にアスピリンを1錠飲むように主治医から言われているそうです。お父さんが取り出したものをみると、随分小さい錠剤でした。
「最近、これを飲むと胃が痛くなるからあまり飲みたくないんだよ」

シート3

そこへ、お母さんが

「この間、おじいちゃんが熱を出したとき、お医者さんがアスピリンの坐薬を出して下さって、半分でいっておっしゃったの。半分残っているけど、これではダメよね？坐薬は早く効くって言うけど」

「うーん、坐薬の使いかけってのもねー。何か他に無いかしら」と五月さん。結局、お姉さんが持っていたアスピリンを飲んでしばらくすると、頭痛も和らいできました。